

72/84 kV 合成短絡試験設備の試験運用開始

◆ 概 要 ◆

遮断器の電流遮断性能を検証する合成試験回路を大電力試験場に増設した。合成試験回路は、電流重畳法を採用した。発電機から電流を供給し、コンデンサ、リアクトル等で構成された電圧源回路により、過渡回復電圧（TRV）を発生する。このTRVは、電流零点検出器により検出された電流零点のタイミングに、遮断器に印加される。

これにより、遮断器の基礎的な電流遮断性能検証が可能となった。



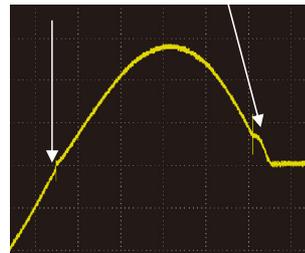
合成試験回路外観

◆ 特 長 ◆

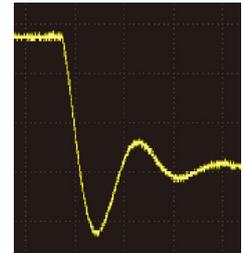
増設した電圧源回路の特長を以下に示す。

- ・対象電圧：72/84 kV
- ・対象電流：25/31.5kA
- ・対象周波数：50/60Hz
- ・単相アーク延長

アーク延長 電圧源電流重畳



遮断電流



TRV

真空注型装置の導入

◆ 概 要 ◆

電力用機器は、エポキシ樹脂による固体絶縁方式のニーズが拡大傾向にあることから、耐熱性等の性能向上を図りつつ、大型機器でも短時間硬化が可能なエポキシ樹脂の配合を確立し、生産性の向上を図っている。

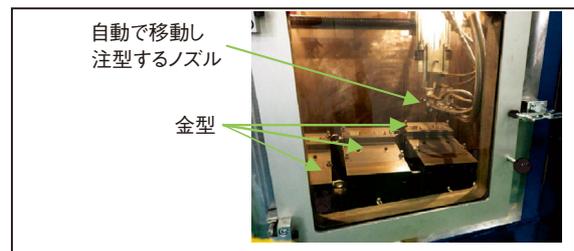
今回導入した真空注型装置は、この高性能エポキシ樹脂をより効率的に、かつ多様な要求仕様のモールド製品にフレキシブルに対応することができる。本装置は高サイクルで繰返し真空注型が可能であり、エポキシ樹脂の適用シーン拡大に伴う少量多品種ニーズにも柔軟に対応できる。



真空注型装置構成

◆ 特 長 ◆

- ・高サイクル連続真空注型
注型チャンバー内を短時間で真空にし、繰返し真空注型が可能。
- ・自動注型
注型ポジション・注型回数・注型速度・注型樹脂量等を最適制御し、自動注型が可能。



真空注型チャンバー